

高等学校 令和8年度 (3学年用)

教科 家庭

科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： 『高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる』 (第一学習者) )

教科

家庭

の目標： 自立した生活者として必要な生活の科学的な理解や生活課題を解決する力の育成について一層の充実が求められる。また、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことなども踏まえ男が協力して主体的に家庭を築き相互に支え合う社会の構築に向けて、家庭や地域の生活を創造しようとする態度や主体的に地域社会と関わり、参画しようとする態度を育成すること。

【知識及び技能】

家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標： 乳児との触れ合いや子供とのコミュニケーション、高齢者の生活支援技術、グローバル化に対応した日本の生活文化等に関する内容を充実する。生活を総合的にマネジメントできるように、健康や安全等を考慮するとともに生活の価値や質を高める豊かな衣食住の生活を創造する能力を身につけさせる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活課題を解決する力を養う。	人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「子どもの生活と保育」 【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・青年期の健康が将来の生まれてくる子どもに繋がっていることを知り、育てる力について学ぶ。 ・人の発達において、保育や二兎のかかわりがいかに重要であるかを、事例をもとに考える。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にどのような影響を及ぼすのかを考える。 ・子どもを生み育てる意義と人間形成の過程について考える。 ・子育てにおける社会環境について考える。	【知識・技能】 プリントやキーワードテスト 【思考・判断・表現】 発表 プリントによる表現 グループワーク 【主体的に学習に取り組む態度】 プリントによる表現 グループワーク プリント提出 出欠席・取り組み状況	○	○	○	29
	期末考査・ファイル点検			○	○	○	1
2 学 期	単元「食生活と健康」 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解するとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・食の安全や健康のかかわり、現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・5大栄養素と水について学習し、からだのつながりについて考える。 ・各栄養素の働きと、その栄養素を多く含む食品について学ぶ。 ・調理の一連の流れを実践し、その理論やコツを学習する。	【知識・技能】 調理器具の正しい使い方を学ぶ。 【思考・判断・表現】 一歩先のことを考え、円滑な実習ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習への取り組み 出欠席	○	○	○	31
	期末考査・ファイル点検			○	○	○	1
3 学 期	テーブルマナーの基本知識 ・テーブルマナーについて、DVD鑑賞やワークシートを使って学習し、実生活で困らない態度を養う。	・テーブルマナーを知り、生活の中で活かせるように理解する。	・授業プリント ・振り返りシート ・意欲的に取り組む態度	○	○	○	7
	期末考査・ファイル点検			○	○	○	1
合計							70